

2024年度 北見陸高等学校シラバス

(教科)【科目】	(情報科)【情報 I】	2年	2単位	教科書	東京書籍 新編 情報 I	副教材等	東京書籍 情報 I Step Forward!	履修対象・使用教室等	2年生フロンティア 情報処理室・HR教室	
教科・科目の目標	情報に関する科学的な見方・考え方を重視するとともに、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うことを目指している。									
評価の観点	知識・技能	情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を用いて問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	評価の方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、(A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況)とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価資料・評価比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	授業中の課題	毎回の授業で課題を課します。			20%	30%	40%			
	検定試験	ワープロ検定 3～準 2級の試験を実施する。			30%	20%				
	単元テスト	3回実施予定。教科書の内容を確認します。			30%	30%				
	夏・冬休みの宿題	各 1 回。レポート課題を課します。			20%	20%	40%			
	授業態度						20%			
	(観点別配分%)	(3 観点の比重を%で示しています)								
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配当時間 (計画)	学習内容・目標 (到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け(%)		
4 5	・オンライン ・文書処理ソフトウェアの操作 ・情報とメディアの特性	12	<ul style="list-style-type: none"> ・Society5.0から情報Iの学習目標とシラバスを理解する。 ・実習用コンピュータの使い方を理解する。 ・文書処理ソフトウェアについて、書式の設定や配置の変更など基本的な操作を学習する。 ・文書処理ソフトウェアで図、表、画像を利用する方法を学習する。 ・ディレクトリやファイルの操作について学習する。 ・情報の特性から、情報とは何かを理解する。 ・さまざまなメディアの特性を理解する。 			授業中の課題	○	○	○	
					検定試験	○	○	○		
					単元テスト	○	○	○		
6 7	・問題解決の流れ ・発想法 ・アイデアの大量生産 ・情報モラル ・個人情報の流出 ・傷つかない傷つけないために ・著作権	12	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 ・問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。 ・問題解決の各場面で活用できる発想法を学習する。 ・情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。 ・情報社会の安全を守るための、法規や制度および個人の責任について学習する。 ・個人情報とはどのようなものか理解する。 ・SNSを通して個人情報が流出・特定される仕組みを学習する。 ・SNS等の不適切な使い方による問題を理解する。 ・ソーシャルエンジニアリングにより不正に情報が盗まれることを理解する。 ・著作権について理解する。 ・引用の仕方を理解する。 			単元テスト	○	○	○	
					夏休み課題		○	○		
8 9	・表計算ソフトウェアの操作 ・データの形式 ・データベースの活用 ・さまざまなデータモデル ・データ分析の流れ	12	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアの書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。 ・表計算ソフトウェアでの数式の利用を学習する。 ・表計算ソフトウェアでの関数の利用を学習する。 ・ディレクトリやファイルの操作について学習する。 ・データとは何か学習する。 ・データの尺度とは何か学習する。 ・データベースの役割がどのようなものか理解する。 ・社会でのデータベースの活用例を学習する。 ・データベースで使用するデータモデルについて学習する。 ・データ分析の流れと方法を学習する。 ・分析の目的に合わせたデータの活用方法を学習する。 ・適切なデータの解釈方法を学習する。 			授業中の課題	○	○	○	
10 11	・デジタルの世界へ ・プレゼンテーションソフトの操作	12	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・2進法と情報の単位について学習する。 ・文字のデジタル表現について学習する。 ・音、画像、動画のデジタル化について学習する。 ・デジタルでの色の原理を理解する。 ・デジタル情報の品質の違いについて学習する。 ・データの圧縮について学習する。 ・プレゼンテーションソフトの書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。 			単元テスト	○	○	○	
12 1	・プレゼンテーション ・アルゴリズムの表現 ・プログラミング	12	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトを用いて、5～10分のプレゼンを実施する。 ・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法について学習する。 ・プログラムの作り方について学習する。 ・プログラムの制御構造について学習する。 			授業中の課題	○	○	○	
					冬休み課題		○	○		
2 3	・モデル化とシミュレーション	10	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル化の考え方と、モデルの種類について学習する。 ・シミュレーションによるモデルの評価について学習する。 ・テーマを決めて、表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う。 			授業中の課題	○	○	○	
学習のアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中には様々な情報が溢れています。皆さんが日常で行う何気ない会話、撮影した写真、SNSに登録した内容、それらすべてが貴重な情報です。情報 I では授業を通してコンピュータの扱い方を身に付けるだけでなく、それらの情報を正しく扱い、効果的に活用できるようにする必要があります。普段から情報や情報に関する技術に関心を持ち、身近にあるスマートフォンやパソコン等を扱う際も、セキュリティやモラルを意識してください。 ・情報の授業は担当者の話を聞くだけでは身につけません。コンピュータ操作が苦手な人はまずはマネから始めてみましょう。得意な人は様々な機能や自分しか作れないような作品を作るにはどうするか考えてみてください。また、普段の取り組みや提出物が成績に大きく反映されます。授業の時間だけでは課題が終わらないこともあります。放課後を活用し、必ず提出物は全て出すようにしてください。 									